ONGA FIRE DEPARTMENT

OFD

～ 志高く！「地域を守る」 ～

遠賀郡消防本部（署）の概要

当消防本部は福岡県の北部に位置し、昭和４６年４月１日遠賀郡４町（水巻町・遠賀町・芦屋町・岡垣町）を構成団体とする遠賀郡消防組合を設立し遠賀郡水巻町に遠賀郡消防本部及び消防署を設置、職員１７名にて発足し、昭和４７年５月２０日に遠賀町広渡（現在の場所）へ移転しました。

東は北九州市、西は宗像市に接し東西に約１０ｋｍの国道３号線が北九州市と福岡市をつなぐ動脈として管内を貫いて走っています。管内総面積は約９３平方キロメートルで、南は中間市・鞍手郡に接し、北は美しい玄界灘国定公園に面し、遠賀川下流に位置しています。

また、管内の西側には豊かな連山がそびえ立ち北九州市のベットタウンとして都市化が進んでいます。

１ 火災

消火活動で大事なことは、「人命」「財産」を守ることです。

遠賀郡は地域柄、火災の件数はそれほど多いものではありませんが、日頃から訓練を重ね、車両と装備を活用し、「人命」「財産」を守るため日々精進しています。

当本部では、指揮車３台、タンク車３台、ポンプ車１台、屈折梯子車１台、化学車１台を配備してあらゆる災害に備えています。

２ 救助

当消防本部は、救助工作車を始め、遠賀川及び玄界灘に面していることからジェットスキー１艇、ボート１艇を配備し火災をはじめ、交通事故、水難事故及び山岳事故などのあらゆる災害から貴重な人命を守るため、車両及び救助用資器材を活用し、安全・確実・迅速な救助活動を行います。

３ 救急

消防の仕事で１番多いのは救急出動です。当消防本部では、救急車を４台配備しており、各隊２～３名の救急救命士を配置することで、高いレベルの救急サービスが提供できる体制を構築しています。

今後も「安心・安全で快適な住みよいまちづくり」を目指し、救急業務を強化していきます。

４ 指令

地域住民の皆さんからかかってくる災害の通報（１１９番）を受信し、内容及び発生場所に最も近い消防隊等を順に選定し、出動の指令を行う消防署の心臓部とも言える通信指令室です。

当消防本部は、各車両をＧＰＳによる車両動態管理システムで把握することにより、スムーズな出動指令を実現しています。

５ 庁舎

当消防本部は、平成２５年２月に建替わり、迅速な初動体制が確保できる施設、仮眠室の個室化など、生活環境において２４時間勤務を行う職員に配慮した庁舎となったほか、女性消防職員が職務及び生活しやすい環境を整えました。

現在は２名の女性消防職員が活躍しており、今後も男女の区別なく活躍できる職場を目指しています。

本部庁舎全景

女性談話室・仮眠室

食堂兼ミーティングルーム